

中学校数学  
第1学年  
7 資料の活用  
[問題]

中学校

年 組 号 氏名

■数学的な思考力・判断力・表現力を育む問題 年 組 号 氏名

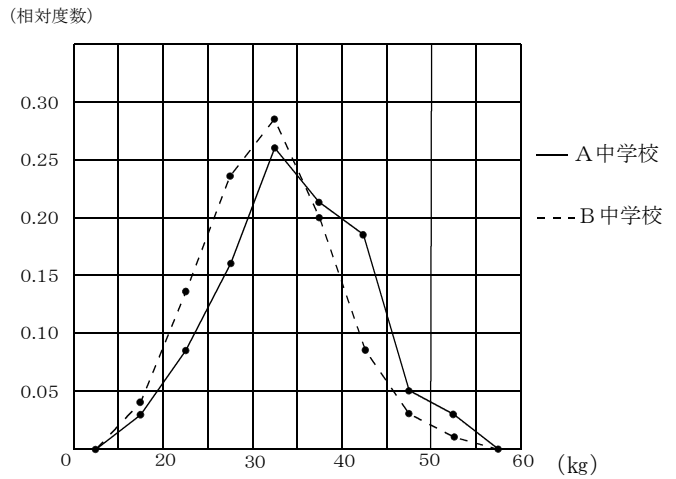
■佐賀県小・中学校学習状況調査①

A中学校とB中学校の2年生男子について、<sup>あくりょく</sup>握力を調べ、その結果を【表1】に整理し、【図1】のように度数分布多角形に表しました。あとの問いに答えなさい。【H22】

【表1】(2年生男子の握力)

握力(kg)	A中学校		B中学校	
	度数	相対度数	度数	相対度数
以上 未満				
15 ~ 20	1	0.03	8	0.04
20 ~ 25	3	0.08	27	0.13
25 ~ 30	6	0.16	48	0.23
30 ~ 35	10	0.26	59	0.28
35 ~ 40	8	0.21	43	0.20
40 ~ 45	7	0.18	16	0.08
45 ~ 50	2	0.05	7	0.03
50 ~ 55	1	0.03	2	0.01
計	38	1.00	210	1.00

【図1】(【表1】の相対度数の度数分布多角形)



【表1】【図1】を見て、A中学校とB中学校の握力の比較について、正しく述べているものを、次のアからエの中から1つ選んで、その記号を答えなさい。

- ア 階級30~35kgでは、B中学校の方が相対度数が大きいので、全体としてはB中学校の方が握力が強い人が多いといえる。
- イ 階級35~40kgより握力が弱い階級の生徒の割合は、A中学校の方が小さく、階級30~35kgより握力が強い階級の生徒の割合は、A中学校の方が大きいので、全体としてはA中学校の方が握力が強い人が多いといえる。
- ウ B中学校の方が生徒数が多いので、全体としてはB中学校の方が握力が強い人が多いといえる。
- エ A中学校、B中学校ともに中央に集まる山型に分布し、左右のひろがりも同じになっているので、全体としては握力が強い人は両校とも同じといえる。

【解答】

中学校数学  
第1学年  
7 資料の活用  
[解答例]

中学校

年 組 号 氏名

## ■ 数学的な思考力・判断力・表現力を育む問題[解答] 年 組 号 氏名

## ■ 佐賀県小・中学校学習状況調査①

イ

## 【ポイント】

## アについて

階級30～35kgより握力が強い階級を比較してみると、B中学校はA中学校より握力が強い生徒の割合が小さいので、全体としてはB中学校の方が握力が強い人が多いとは言えないね。

## ウについて

B中学校は人数は多いけれども、各階級の握力が強い人の割合を比較してみると、全体的にはB中学校はA中学校より握力が強い人の割合が小さいね。

## エについて

山型の傾向は似ているけれども、ウで述べたように握力が強い人の割合は、A中学校の方が大きいので、両校同じとは言えないね。